

県高校総体・体操

男子団体で5連覇

田辺工業 個人の部も優勝独占

全国高校総体(インターハイ)体操競技の県予選が23～25日に和歌山市の県立体育館であり、田辺工業が男子団体で5年連続15回目の優勝を決めた。男子個人総合や種目別(6種目)でも、すべて同校の選手が優勝した。インターハイは8月2～4日に東京都で開かれる。



インターハイ出場を決めた(前列左から)楠川雄太、山本群、佐々木伶緒、筒井宏樹、(後列左から)鈴木孝彦、大西龍樹、長坂朋弥の各選手

男子団体戦には田辺工業の▽跳馬▽平行棒▽鉄棒を演じ、和歌山北、和歌山工業、技し、各校上位3選手の得点を合計して順位を決めた。田辺工業は過去最高の246・

950点を獲得。2位の和歌山北(209・300点)を大きく引き離れた。

男子個人総合では、6種目中5種目で1位となった3年の楠川雄太選手が優勝した。残る1種目(あん馬)で1位になるなどした3年の山本群選手が2位。種目別では、ゆかと跳馬で田辺工業の選手が1～3位を独占した。

団体メンバーの山本選手は「最初はミスも出たが徐々にペースをつかみ、最後はよい形で終えることができた。インターハイまでの約2カ月間で技の美しさを意識し、失敗を減らしたい。(過去最高順位の)6位入賞を超える成績が目標」と話している。

団体選手は次の皆さん。
3年＝楠川雄太、山本群、鈴木孝彦、大西龍樹▽2年＝佐々木伶緒▽1年＝筒井宏樹
田辺工業からは、県予選の個人総合で6位に入賞した2年の長坂朋弥選手も個人としてインターハイに出場する。

◇
県予選で男子団体優勝の田辺工業は、準優勝の和歌山北とともに6月21、22日に京都府向日市で開かれる近畿大会への出場権も得た。個人戦には、団体メンバー以外の6人も出場する。